

4 各分野の展示概略 【こんな項目（まとまり）で展示しています】

未来へつなぐ熊本の記憶 ～ 集める・伝える・創造する ～

(1) 1階 展示室（人文系：熊本の歴史と文化の由来をさぐる）

① 考古分野

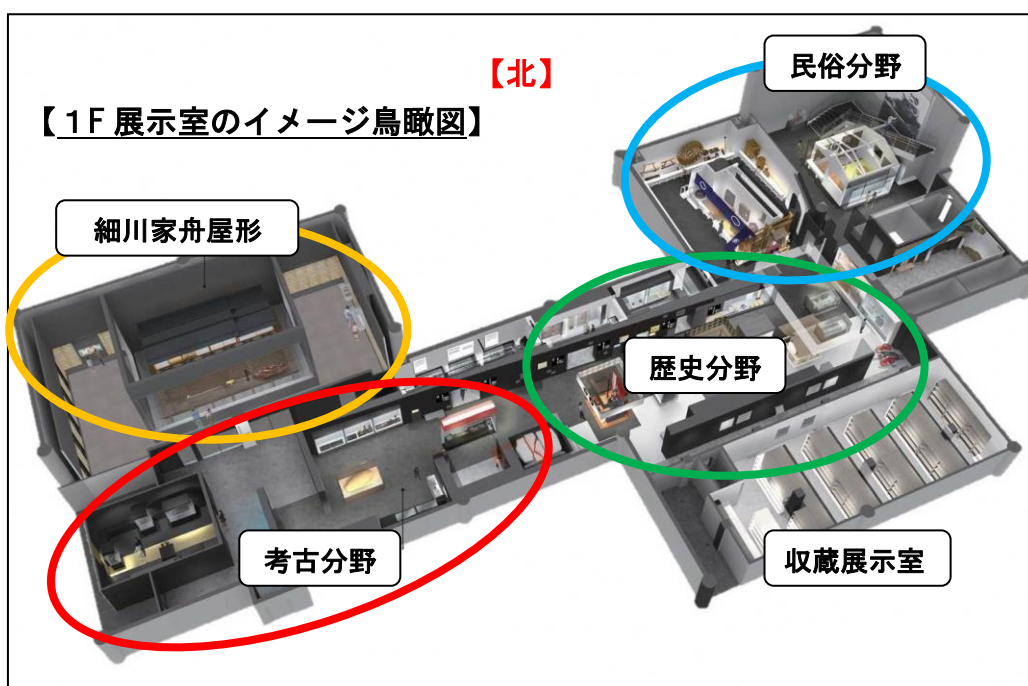
「黄金文化への憧れ」「熊本に人がやってきた」「採集と狩りの時代」「稲作のはじまり」「古墳が造られた時代」「律令時代をむかえて」という項目で、国指定重要文化財の「球磨郡あさぎり町 才園古墳出土遺物」、熊本市内の各遺跡出土の土器や石器、弥生時代の甕棺、古墳時代の石棺、全国で唯一の五輪塔など、他所ではなかなか見ることができない貴重な展示品がたくさんあります。

② 歴史・美術工芸分野

「武士の台頭と、その社会」「加藤清正、肥後へ」「庶民の英雄・清正公」「成熟する肥後」「学問の広がり」「変わる熊本」という項目で、国指定重要文化財の細川家舟屋形をはじめ、「寿福寺／宝成就寺文書」（中世～戦国時代の古文書）、加藤清正所用甲冑（レプリカ）、細川忠興所用甲冑（レプリカ）、博物館所蔵刀剣資料、西南戦争錦絵コレクションなどがあります。

③ 民俗分野

「躍動する民衆」「富国強兵と庶民の暮らし」「都市周辺に広がる農地」「軍都・熊本と戦争」「現代に繋がる暮らし」という項目を設けて構成しています。主な展示物としては、雨乞い太鼓をはじめ、小泉八雲が見たトンボの造り物や、薬屋（町屋）・昭和の家の復元展示、肥後鋤・肥後犁といった熊本独自に発展した農機具などがあります。



※ その他、藤崎台のクスノキ群を核とした人文系・自然系「分野融合展示」や、「熊本博物館の裏側」「昔の熊本の駅」「熊本城遺構展示」「三の丸地区の歴史的変遷」なども紹介しています。

(2) 2階 展示室（自然系：熊本の自然にひそむ魅力と不思議に気づく）

① 地質分野

『熊本の大地の生い立ち』に迫るべく、県内産の化石や岩石を時系列順に展示する『くまもと5億年のタイムライン』や、有明海より見つかったステゴドン科のゾウの臼歯化石と、中国に生息していた近縁種であるコウガゾウの全身骨格を対比する『ステゴドンがやってきた』、「示準化石」や「造岩鉱物」などの地史を読み解くために重要な化石・岩石・鉱物を見て学べる『ジオジオ・スタディールーム』などの項目と展示物があります。

② 生物分野（動物・植物）

『熊本の身近な自然』に迫るべく、「江津湖の多様性」「金峰山の多様性」という項目を設けて構成しています。主な展示物としては、江津湖のジオラマ、金峰山の動植物などがあり、熊本市域の身近な動植物や希少な動植物を標本や写真等で紹介しています。

③ 生物分野（熊本県博物館ネットワークセンター：県市連携展示）

熊本県域を網羅した生物展示を行っています。主な展示物としては、クロツラヘラサギやハナシノブ等、絶滅危惧種の標本などがあります。

上記の展示物の他にも、市民・県民の皆さまによる博物館活動を紹介するコーナーも設けられる予定です。

